

KSKQ

障害者事業団だより

No. 10

財団法人箕面市障害者事業団

## (財)箕面市障害者事業団

### 設立5周年記念誌



5周年記念イベント会場にて

～ '95. 10. 29 (日) 芦原公園にて

2,000名の参加で大成功!

設立五周年記念誌を発行するにあたり、本事業団を代表して一言ご挨拶申し上げます。

平成二年六月、障害者の働く場づくりを目指して誕生した本事業団の設立に際しましては、市議会のご議決を頂き、箕面市から一〇億円の財産が出捐されましたが、市民の皆様の善意の寄附とあわせ、これらは障害者雇用に対する関係各位の深いご理解の賜物と改めて感謝申し上げます。

## 発行のご挨拶

また、同時に、市内全ての障害者関係団体の皆様が一堂に会し、熱心な議論をされ、モデル事業を実施し、出捐をされたことも、本事業団誕生の大きな原動力でありました。

そして、法人認可から今日に至るまで種々ご指導賜っている大阪府の方々を始めとして、関係機関・団体の皆様にも衷心よりお礼申し上げます。

さて、五年の間に、障害者雇用を通じ職種開拓・職域拡大をめざす諸事業も、喫茶店・売店運営、緑化推進事業、リサイクルセンター運営事業と大幅に拡大し、現在一七名の障害者職員が働いておりますが、他方、啓発ビデオの作成や、障害者問

題啓発講座の開催、さらには一般企業への職場実習事業など雇用促進を図る諸事業も積極的に事業展開しております。

設立五年を経て、なお全国各地からの見学者が絶えませんが、地域に密着したシステムで障害者雇用促進事業を行っていくことに、私は大きな誇りと責務を感じるものです。



財団法人  
箕面市障害者事業団

理事長  
尾池 良行

また来年度は、待望の事務所移転や保健福祉総合施設内における喫茶店と花の店、福祉ショップ開店を計画しており、さらには労働省の施策である障害者雇用支援センター設立に向けた諸準備も現在行っています。が、役員一同、なお一層身を引き

締めて頑張ってお参りたく考えます。

さて、去る一〇月二十九日に開催致しました記念イベントには、二千名の方がご参加下さり、誠にありがたく思いますと同時に、常にこうした市民の熱気と共に歩む事業団でありたいと強く実感したことを最後に申し上げ、設立五周年記念誌発行のご挨拶と、今後とも相変わらぬご支援・ご協力をお願いとさせていただきます。

## 目次

発行のご挨拶

理事長 尾池 良行 …… 2

お祝いのご挨拶

箕面市長 橋本 卓 …… 3

お祝いのご挨拶

箕面市議会議長 北口 和平 …… 4

お祝いのメッセージ …… 5

箕面市身体障害者福祉会

箕面手をつなぐ親の会

箕面市肢体不自由児者

父母の会

豊能障害者労働センター

箕面障害者共働作業所

そよ風の家

箕面市障害者自立の店

たんぼぼ共働作業所

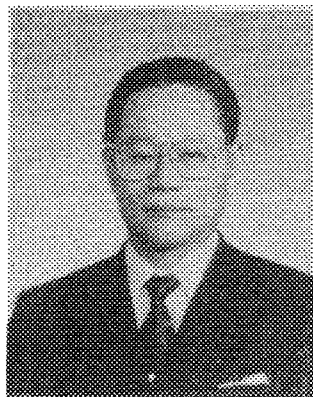
障害者関係団体の多大なご努力により、平成二年(一九九〇年)六月に設立されました財団法人箕面市障害者事業団が、設立五周年という大きな節目を迎えられ、誠にめでとうございます。ここに記念誌が発行されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

貴事業団におかれましては、「働く」ことを核

にしたノーマライゼーションの実現を目指して、設立以来、障害者の方々の働く場づくりの推進と雇用の拡大を図るといふ非常に難しい課題に真面目に取り組んで頂くとともに、障害者福祉の向上のため日夜ご努力・ご尽力を重ねられ、今や「箕面に障害者事業団あり」と全国に誇れる事業団として着実に成果を上げておられますことに對しまして、心から深く敬意を表する次第でございます。

箕面市では現在、二〇〇三年を目標年次とした箕面市障害者市民の長期計画の策定作業を進めております。この計画はすべての人々の人権が尊重され、だれもが住みなれた地域で豊かに暮らして

## お祝いのご挨拶



箕面市長  
橋本 卓

いける社会づくりを目指すとともに、障害者の自立を支援するため、障害者の施策を総合的・計画的に推進するものですが、この計画推進にあたりまして、貴事業団はなくてはならない存在として認識いたし、ご期待申し上げる次第でございます。

本市といたしましては、これまで基本財産の出

捐並びに事業委託などを通じて、運営に對するご支援をさせて頂いておりますが、今後とも出来る限りの支援策を講じて参りたいと存じますので、どうか職員並びに関係団体の皆様方には事業団設立五周年を契機とされまして、さらなる発展のため、より一層のご尽瘁を賜りますようお願い申し上げます。

なお、これまでの事業団の活動に様々な形で協力頂きました市民の皆様にお礼申し上げますとともに、箕面市障害者事業団のなお一層のご活躍を心から祈念申し上げます、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

箕面市精神障害者家族会  
みのお会

(福) 箕面市社会福祉協議会

(社) 箕面市シルバー  
人材センター

(福) あかつき福祉会

箕面商工会議所

箕面市農業協同組合

箕面地区労働組合協議会

箕面市人権啓発推進協議会

箕面市老人クラブ連合会

箕面市民生委員

児童委員協議会

障害者の働く

パンハウス・ワークランド

箕面東部自立センター

ZEROの家

大阪府立明光ワークス

歩んできた

足跡をふりかえって

(設立前(平成八年度)) : 15

障害者職員の声

(一番印象に残った事、

聞いてみました!) : 21

財団法人箕面市障害者事業団設立五周年記念誌が発行されるにあたり、市議会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

まずもって、このたび記念すべき五周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて、貴事業団におかれましては、障害を持つ市民の働く場づく

りと、民間企業への雇用促進を目指

して平成二年に設立されて以来、歴

代理事長さんをはじめ、関係者各位

の並々ならぬご努力によりまして、

着実に発展を遂げられ、多大の成果

をあげておられるところであり、改めまして深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

ご高承のとおり、本市におきましては、ノーマライゼーションの理念のもと、心身に障害を持た

れた方が、当然のこととして常に等しく社会の一員として尊重され、自ら進んで地域社会に参画で

きる体制づくりに向けて、種々の施策が講じられ

ているところであります。

こうした中、貴事業団におかれましては、常に創意工夫・相互支援を重ねられ、障害を持つ方に

適した職場開拓の調査研究や、障害者就労の実践活動を積極的に展開され、さらにその成果を活か

して民間企業への職場実習事業を行なっておられますことは大変意

義深く、ご同慶に堪えない次第でございます。

私ども市議会といたしまして、

だれもが安心し、生き甲斐を持つて

暮らせるまちづくりに向けて、努力をいたす次第でござ

います。

どうか、本事業団が障害者の完全な社会参加と

平等へ向かって、確かな基盤を築かれますよう祈

念いたしますとともに、今後ますますのご発展と、関係者各位のご健康・ご多幸を衷心よりお祈り申

上げまして、誠に簡単ではございますが、私の

## お祝いのご挨拶



箕面市議会議長

北口 和平

五周年記念イベント 報告	22
事業団の思い出	24
初代事務局長 鈴木恵介	
第二代事務局長 太田克己	
第三代事務局長 島田政弘	
(財)箕面市障害者事業団 役員・評議員 任期一覧	26
機関誌 総目次 障害者事業団だより No.1～No.9	28
掲載された 新聞記事から	30
編集後記	32

# お祝いの

## メッセージ

(順不同)

(財)箕面市障害者事業団が、  
今日まで歩んでこられたのも  
各団体のご支援・ご協力が  
あってこそのことです。  
各団体からお祝いのメッセ  
ージをいただきました。  
謹んでお礼申し上げます。

### 箕面市 身体障害者 福祉会

財団法人箕面市障害者事業団  
設立五周年を迎えられ、心から  
お祝い申し上げます。

振り返ってみますと昭和六〇  
年一月に障害者団体・関係機  
関、行政等で障害者の働く場づ  
くりの為の懇話会が設置され、  
以来様々な経過を経て平成二年  
六月、市からの巨額な出資金と  
市民基金、モデル事業収益金に  
より事業団が設立されました。  
以来、今日まで理事長さん、  
役員、職員のご努力によりよう

やく軌道にのって来た事は、誠  
に喜ばしい事であります。

昨年の記念イベントは盛大に  
行われ、市民に対しての啓発の  
意義は大きかったと思います。

まさに世の中どん底不景気、  
世間一般・新卒者の就職難、中

高年のリストラ等厳しい世相は  
我々障害者にとっても、より以  
上の困難な雇用状況であります。  
しかし視覚・聴覚・肢体・知的・  
精神、それぞれの障害に適した  
雇用拡大はすべての障害者が安  
心して自立した生活が送れる最  
も重要かつ不可欠な事です。

それには、事業団の様なら  
ゆる公的援助は必須条件であり  
ます。

今後共、市民の理解と認識を  
いただきながら充実・発展され、  
一人でも多くの障害者が就労出  
来る様、努力していただくよう  
お願いして、お祝いの言葉と致  
します。



## 箕面 手をつなぐ 親の会

ようやく五年！ まだ五年！ 私たちの“希望”である事業団が発足して五年。街で、公園で、「喫茶するうぶ」で、働く彼らの姿が見られるようになりました。障害者が、箕面市民にようやく“働く人”として認知されようとしています。お陰で(特に重度の)障害者自身にとっても、自分たちが働ける場をつくり出せるのだという証しを手に入れることができました。事業団が万能の神ではないと知りつつも、なお寄せる私たちの過度の期待に、ここまで答えてこられた職員の方々の奮闘に心から敬意を表します。

事業団には現在一七名の障害者が雇用され、また近々何名か雇用されるチャンスがあるよう

ですが、直接雇用の場としての役割もさることながら、これから事業団が取り組もうとされている雇用支援の事業をはじめ、その他の役割にも期待したいと思います。

また、五年の歳月で出てきた様々な問題のなかで、障害者が働くということがどういうことなのか、私たちは改めて考えさせられました。親にとってはいつまでも堂々巡りのようなこの問題を自問自答しながら、彼らが働き続ける事を支える為に必要な生活面の支援をも、また私たちは考えていかなければならないと思っています。

一般就労への道は依然として困難な状況にあり、今後この社会・経済情勢が如何なるものになるかなんて、我々如き者には予想もできないけれど、一つずつ、一歩ずつ試してみるよりしかたないでしょう。

## 箕面市 肢体不自由児者 父母の会

財団法人箕面市障害者事業団の設立五周年を、心よりお祝い申し上げます。

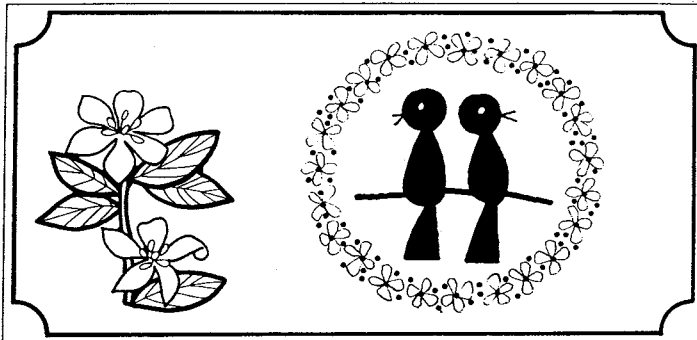
貴事業団は行政、市民、障害者団体が一体となり、全国に先例を見ない組織として設立されたわけですが、この五年間は他の自治体からの視察も非常に多かったと聞いております。

また、当父母の会からも理事、評議員等として参画させていただき、いろんな意見の反映もしていただきました。

一般社会ではごく当然な「働いて賃金を得る」ということが、どんなに重い障害をもっていてもでも実現できるように、社会に訴えてきた五年間だったと思います。

これからも、一〇周年、一五

周年を迎えるなかで、箕面の街がますます潤いのある、誰もが安心して生活のできる、すばらしい街になるよう貴事業団の活躍に期待したいと思います。



## 豊能障害者 労働センター

人が日々の生活を送るためには、生活に足る所得があることが必須の条件です。またお金が全てでないとしても、一定の文化、自由を個人が感じるためにも、それ相当のお金が必要であり、そのために人はみな働くのに、障害を持つ人たちの場合は、そういった経済活動を無視して、「生きがい」としての労働観がまかり通ってしまうことが多いのです。「障害者が働くことができない」という社会的問題を、障害者個人に押しつけてしまい、もぐらたたきのごとく、次々に卒業してくる障害者のたまり場づくりに明け暮れていたのでは、障害者市民はいつまでたっても他の市民と同等にはなれません。

その意味で障害者事業団の設立は、これまでの福祉行政の方向を大きく変える画期的なことであり、私たちにとっても非常に感激的なことでした。

準備期間に五年、そして設立以来ようやく五年が経過した障害者事業団が、これまで何ができたのかということについて、多くの言葉より障害者職員のたくさんい顔つきが、全てを物語っているように思います。

今後より多くの障害者雇用に向け、様々な角度から社会に投げかけるものが大きいと期待しますが、激流のような社会に立ち向かうためには、全てを事業団に託すのではなく、私たちも含め多くの人たちが「障害者雇用に向けた取り組み」を展開することが必要なのだと思います。

## 箕面障害者 共働作業所 そよ風の家

記念誌に何を書こうかずいぶん悩みましたが、素直に振り返り、そよかぜの家は松内秋弘さんのことを書きます。

松内さんの就職が決まった時、誰もが二・三か月で飛び出すだろうと思っていました。ですが何と表現したらいいものか、彼は仕事か休みの日以外、そよかぜを訪れることはありませんでした。グチをこぼすこともなく、その上、出ていたおなか少しへこんで、その変わりように決して寂しさを感じることはありませんでした。戸惑うほど驚いたのが正直なところでした。私たちのおせっかいな心配をよそに、彼は就職するんだとすごい決意をし、事業団に自分で自分を放り込んだんだと思います。

た、そよかぜで得た関係はしっかりとそのままにして。

そんな松内さんも二六歳、自立をしたいと考えているらしく、よく相談されます。そんな彼の当たり前な想いを実現できる日を一日も早く迎えられるよう、彼の後に続く多くの障害者市民の一〇年後二〇年後を、事業団の一〇年後二〇年後を、事業団と他の団体と共に、今後もそよかぜの家は行動を続けていきます。



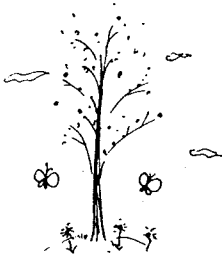
**箕面市**  
**障害者自立の店**  
**たんぼぼ**  
**共働作業所**

設立五周年、おめでとうございます。

一九九〇年の設立以来、早いもので五年の月日がたったのですね。設立当初は、色々な事がありました、それをのりこえてきてよかったなあ〜と思います。

これからも一〇年、二〇年と今より一層がんばって下さい。同じ箕面の団体として、おうえんしています。

(メンバー一同で)



**箕面市**  
**精神障害者家族会**  
**みのお会**

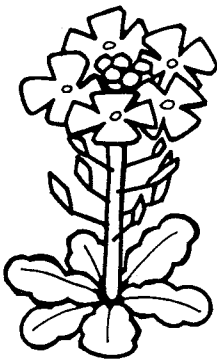
箕面に全国でも稀有な、障害者事業団が設立されて、はや五周年。理事長さんをはじめとして、事務局の方々のたゆまない御努力と、また市役所はもとより各界のバックアップに依って、大きく成長致しました事は、誠に喜ばしい限りでございます。

顧みますれば、保健所の前相談員より「箕面市に障害者事業団と云うものが出来るので、「みのお会」としても参加した方がいいのでは……。」と、突然のお話とて、全く様子もわからず、家族会としまして暫く遠巡しておりましたが、評議員会に出席させて頂く様になり、臆気ながら、今後の障害者の歩む道を提示しており、画期的な事ではないかと思える様になりました。

した。

色々な団体が主宰しておられる共同作業所、グループホーム等、特に家に引き籠もって出られない多くの方たちが、喜んで愉しく参加出来る場所と、お世話し下さる方々を、確保するのは容易な技ではありません。

国の施策も遅々として進まず障害者たちのユートピアが完成するのは何時の日か、気の遠くなる様な話ですが、皆で事業団をもり立て、そして、私たちへも極力応援をして頂き、ともに手を携えて、実現できる日迄、頑張っていきたいものと、念じております。





## (福)箕面市 社会福祉協議会

箕面市障害者事業団設立五周年誠にありがとうございます。

貴事業団は、この五カ年の歩みの中で「共に生きる社会」を目指し、様々な取組みが進められて参りました。ノーマライゼーション理念の普及、障害者問題の啓発、就労の機会創設など、それぞれの分野で多大の成果を収めてこられました。これは、貴事業団皆様の日夜を分かたぬご尽力の賜ものと深く敬意を表する次第であります。

二年前には「障害者基本法」や「障害者の日」が設けられ、昨年二月二十八日には、「障害者プラン」が政府決定として発表されました。関心の高い労働部門では、一般企業への就労の困難さが窺われます。「完全

参加と平等」の実現には、まだまだ道遠しの感があります。

箕面市におきましても、現在障害者市民長期計画を策定されつつありますが、中でも雇用と就労の充実に、今後も継続した地道な取組みが望まれます。

貴事業団が「障害者の自立を促進し、就労の場を広げること」を、大きな「ねらい」として設立され、最善の努力を重ねられていくことは、誠に意義の深いことで、今後、貴事業団に寄せられる期待は、益々高まるものと思われれます。

私ども箕面市社会福祉協議会といたしましても、貴事業団を始め、関係機関、関係団体と緊密な連携を保ち、「共に生きる社会」に向けて、「心豊かな福祉のまち箕面」実現のため、努力をいたす所存であります。

終りに、貴事業団の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げ、お祝の言葉といたします。

## (社)箕面市 シルバー 人材センター

財団法人箕面市障害者事業団が、設立五周年の関連事業として「記念誌」を発行されますこと、慶賀至極に存じます。

「国連・障害者の一〇年」の最終年が二年後に迫っていた平成二年に、全国でまったく初めての財団法人による障害者事業団の発足にあたり、我がシルバー人材センターにも理事及び評議員、各一名の就任ご要請があってお引受けして以来、現在まで事業団の業務推進に、いささかのご協力を担っております。

この五年間に藤井保夫(故人)及び尾池良行両理事長さんをはじめ、役員そして職員等の皆さんが積み上げてこられた事業の拡大・充実と、地域社会への啓蒙活動の成果を示す大きな事業の

一つとして、昨年一〇月二十九日に開催されました「設立五周年記念イベント」が、早朝までの激しい雨と、その後の強風の中にもかかわらず二、〇〇〇人も参加者を得て盛大、成功裡に遂行されましたことを眼前にして、これまでの並々ならぬご努力が立派に結実したものだ、と心底より感激いたしました。

事業団と私どもセンターは、「財団」と「社団」という法人格の違いはありますが、共に地域の理解と協力、行政の支援を得て「働く場」の確保に努めるとともに、事業の啓蒙活動が重要課題だという共通点があり、何よりも地域に愛され親しまれる団体であらねばなりません。

これがためにも「会員募集」に一段と力をそそがれ、収入(利子)の大幅な減少という困難な状況下ではありますが、事業団の益々の発展・充実を祈念してお祝いの言葉といたします。

## (福) あかつき福祉会

財団法人箕面市障害者事業団が設立され、本年度で五年目を迎えられる、心よりお祝い申し上げます。設立以来、喫茶・緑化・リサイクルセンター等で障害のある人達が多数雇用され、地域の中で働く姿が、たくさんの方々にごく自然に受け入れられたことを心強く思います。

また、事業団に採用された障害のある人達一人ひとりが、市民や関係者に支えられ、持てる力を如何なく発揮して、それぞれの自立の形が広がっていく姿を端々で感じ、そこにノーマライゼーションの基本原則が培われていていると思います。

この五年間で、障害者事業団は障害のある人達を雇用し、働くことを通じて障害のある人達

の社会参加やノーマライゼーションを浸透させる担い手として積極的に事業展開してこられました。たことを心より称賛いたします。が、障害のある人達が自立していくには様々な問題を抱えています。雇用についても、事業団という組織の中で障害のある人達だけが働くのではなく、事業それぞれに共鳴する市民、団体、会社等が参画し、共に事業展開していくことが不可欠ではないでしょうか。また、事業団という枠から越えて、障害のある人それぞれにあった働く場、活動の場が地域社会の中で広がっていくことが真の姿ではないでしょうか。

今後、地域社会の中で障害のある人の働く拠点として事業団を核とし、われわれ福祉関係者は支援していきたいと思えます。最後に、事業団のますますのご発展をお祈りいたします。

## 箕面 商工会議所

(財)箕面市障害者事業団設立五周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

我が国経済は、バブル崩壊以降、五年に及ぶ景気低迷が依然続く中、中途採用は勿論のこと新規学卒者においても厳しい就職戦線を余儀なくされております。とりわけ、女子の大卒者は超氷河期と言われるほど厳しいものがあり、公共団体等において諸種の施策が講じられてはいるものの、なかなか明るさが見えてこない状況でございます。

こうしたなかで、障害者を取り巻く雇用の状況も一段と厳しいものがあると存じますが、貴事業団におかれましては「働く」ことを核にしたノーマライゼーションの実現を基本理念に日々邁進なされていることに深甚なる敬意を表します。また、リサ

イクル事業や緑化推進事業など「市民と触れ合って働く」ということの中に「共に生きる」命の尊さを広く普及啓発されていることに接し、深く感銘いたすものでございます。

二一世紀を目の前に、テクノロジー、コミュニケーション、ライフスタイルなど至る所で新しい胎動が始まっておりませんが、今、バブル崩壊という不透明な時代になりながらも社会全体は着実に次なる飛躍へ動き出しています。幸い、貴事業団では障害者の雇用並びに雇用促進を始め、事業団の組織・運営・労働条件等、多岐にわたったの取り組みが進められ、着実に成果をあげられていることに敬服いたしますとともに、更なる事業展開を願って止みません。

設立五周年という節目にあたり、深く関わってこられた関係各位のご尽力ご努力にあらためて敬意を表し、貴事業団の今後のますますの発展とご健闘を祈念申し上げます。お祝いの言葉に替えさせていただきます。

## 箕面市 農業協同組合

財団法人箕面市障害者事業団  
設立五周年、誠におめでとうご  
ざいます。

平成二年六月に日本で第一番  
目の事業団設立という輝かしい  
歴史的背景のもと、地域の障害  
者市民に対し、その障害態様に  
応じた「就労機会」の創出と確  
保、また職業的、社会的な自立  
の促進を計るとともに、一般市  
民の積極的な事業参加と斬新な  
民間活力の導入を図り、全ての  
人が安心して生活できる地域社  
会づくりに寄与することを目的  
とした先駆的な活動は、他の市  
町村の注視となり、貴事業団の  
果たすべき役割は非常に大きい  
ものがあると思われまます。

バブル崩壊後の景気低迷のな  
か、事業団の運営もさることな

がら雇用拡大という基本目標も、  
健常者の就職難状況からみて、  
障害者市民の雇用促進には大変  
なご苦労があるうかと推察致し  
ます。が、障害者問題、また同  
じ人間としての基本的な人権に對  
する意識の高揚を図るべく、今  
後も各種イベントの実施や、平  
成五年に完成された「みのおの  
街 車いす大冒険」のビデオ活  
用等により一般市民、また雇用  
する側への啓発活動をより積極  
的に展開されることを期待して  
おります。

私共箕面市農業協同組合も、  
微力ではありますが、雇用促進  
に向けて施設の整備や組織の充  
実を計りながら、差別のない社  
会、職場づくりを目指していく  
所存でございます。

最後に、貴事業団の今後ま  
ますの発展と、ご活躍を心から  
ご祈念申し上げます。

## 箕面地区 労働組合 協議会

箕面市障害者事業団設立五周  
年を記念するにあたり、箕面に  
働く仲間を代表して、心からお  
慶びと連帯のご挨拶を申し上げ  
ます。

貴事業団が産声をあげられて  
から早五年を迎えられ、その歩  
みの一歩一歩が、この箕面を障  
害者の完全参加と平等の街へと  
確実に変えていこうとしていま  
す。街中の公園で、夏のプール  
サイドで、滝道で、メイプルホー  
ルや教育センターの喫茶店で、  
リサイクルセンターの喫茶店で、  
のシャツ姿が少しずつ増え街に  
溶け込み、そして、無くてはな  
らないものになってきています。

その実践が、より多くの市民  
に受け入れられ、また、事業者  
にも理解され、最後には、あら

ゆる職場に自然と障害者が働い  
ている箕面になることを、私た  
ちも切に望んでいます。

私たちの労働運動も、雇用者、  
被雇用者という関係の中で、弱  
者である労働者を守るために始  
まったものです。貴事業団の歩  
みを目の当りにし、私たちの運  
動の歴史を振り返った時、自ら  
の権利や労働条件の向上に終始  
し、障害者の就労や自立にどれ  
だけ目を向けることが出来てき  
たか問い直さざるを得ません。

私たち箕面地区労働組合協議  
会といたしましても、貴事業団  
を始め、皆様のご指導を賜りな  
がら、箕面の働く仲間として、  
ともに生き、ともに働ける箕面  
を目指して、微力ながらも邁進  
して参りたいと思えます。

最後になりましたが、貴事業  
団も五周年を期に、その目的達  
成に向けて、さらなる躍進と発  
展されますことを祈念して、お  
祝いのご挨拶といたします。

## 箕面市 人権啓発 推進協議会

財団法人箕面市障害者事業団が設立五周年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

貴事業団におかれましては、設立以来、障害者市民の働く場の確保や雇用の促進をはじめ、さまざまな啓発活動を展開されてきたことに対して、深く敬意を表する次第でございます。一瞬にして人々の生活を崩壊させた、あの大震災から一年が経過しました。その復興に向けてのボランティアの皆さんの活動から、私たちは本当に大切なものは何かということを教えられたように思います。このような、相手の立場を思いやり、お互いに支え合うことが「人権尊重」につながる大切な精神であ

ることを改めて感じさせられた一年でありました。この貴重な経験と、箕面市人権宣言の精神をこれからの活動に活かしてまいりますと存じます。

また、最近の障害者市民を取りまく情勢は、大阪府福祉のまちづくり条例の制定をはじめ、生活の向上、就労対策においてさまざまな取り組みがなされてはいるものの、依然厳しい状況に置かれているのが現実であります。

私たち、箕面市人権啓発推進協議会といたしましても、貴事業団との連携をより強化し、箕面が差別を許さない、人間を尊重するまちとなるため、今後とも全力を尽くしてまいりたいと存じております。

最後に、この五周年を節目に貴事業団のますますのご発展をご祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。

## 箕面市 老人クラブ 連合会

箕面市障害者事業団の設立五周年、誠におめでとうございます。

障害を持つ方々の就労機会の援助や就労の場の提供を目的として、平成二年に全国に先駆け設立され、就労を通じて「障害者が住みなれた地域であったりまえに暮らすこと」というノーマライゼーションの実現を目指されていることは有意義なものと感じております。私どもは概ね六〇歳以上の者が会員であり、現在ほとんどの者が職場を離れております。が、就労することで金銭を得る喜びを多年にわたる味わってきた者として、このように就労することの喜びや代価を得ることの喜びにふれる機会を保障すべく日々努力さ

れていることは、障害者の方々にとって人生の価値ある時期を支えておられるものと確信いたします。

私どもも箕面市内にある公園花壇の灌水や植え付けなどで、職員の方々と一緒に実施したことがございますが、炎天下での作業もあり、皆様のご苦勞に頭の下がる思いがいたします。

各種事業においても、障害者の方々のそれぞれの障害や個性に合わせた職種開拓・職域拡大という目的に向けての職員の方々のご努力はたいへんなものと感じたいです。また、障害者の方々の社会参加を促進するため、各種事業において「外」での活動を目標としておられることは社会生活での基本を保障しているものと感じております。最後にりましたが、箕面市障害者事業団のますますのご発展を祈念いたしております。

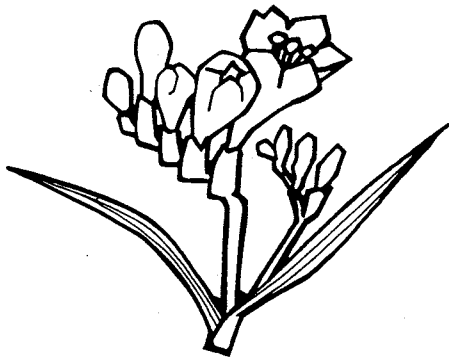
## 箕面市 民生委員 児童委員協議会

秋晴れの良い天気恵まれ、設立五周年記念イベントが一月二九日に、箕面市芦原公園にて行われました。開会式の後、車椅子体験マラソンや、フリーマーケット、市内中学生による吹奏楽コンサート、また、焼肉パーティもあり、子供から大人までみんな楽しめる企画がたくさん楽しかった一日でした。事業団の皆さんの五周年記念への頑張りをもって大成功に終わり、おめでとうございました。

平成二年の事業団設立以来、行政・市民・障害者団体に支えられ、五年目を迎えられました事、誠におめでとうございました。公園花壇の管理や、空カン・ピンの再資源化への選別作業、物販売、喫茶店運営等、各事業

も順調に生まれ、一般企業への雇用促進では、就労された方もあると聞きました。冬の寒い日、夏の暑い日、ご苦労もおありでしょうが、春には色とりどりの花が咲き、街を明るく楽しくしてくれそうです。

今後、障害者事業団皆様の、ますますのご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 障害者の働く パンハウス・ ワークランド

五周年おめでとうございます。私たちの働く「障害者の働くパンハウス・ワークランド」は、障害者事業団の育成事業の一つという位置づけで出発しました。(記憶が不鮮なのでまちがっていたらごめんなさい。)

ですから？ 私たちのパンハウス・ワークランドも五周年ということになりました。

五年……と云えばながいようであり、あつと言ふ間にとおりすぎる《とき》のようにも思えます。

そのあいだには、箕面障害者共働作業所「そよ風の家」のメンバーのひとりである松内秋弘さんが、事業団に就職するということもあり、一層事業団が、近いものになったように思い

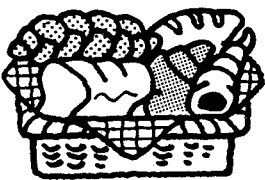
ます。

こんにち、差別のない社会をめざして、様々なかたちの働きかけが、大きく広がっているように思います。

ですが、『差別の壁』はまだまだ厚く、障害者のおかれている現状は本当に厳しくて、誰もがあたりまえに生きられる世の中には、まだまだ遠いようにおもわれます。そんななかで、障害者事業団の存在は、公的な障害者雇用のための大切なひとつの場所です。

そんな大切な場所がもっともっと大きく膨らんで、広がってほしいのにも思います。

そんなことを想うところです。



## 箕面東部 自立センター ZEROの家

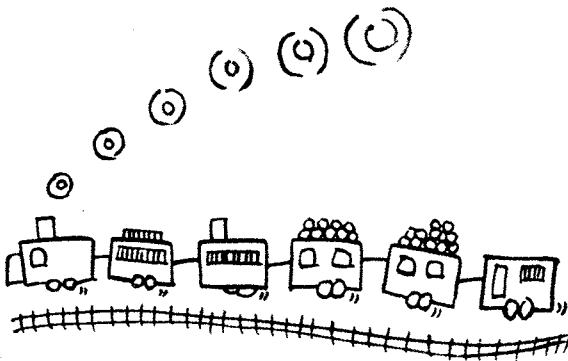
設立五周年、おめでとうございます。

一〇月二十九日に、開催された箕面市障害者事業団設立五周年イベントは、大変良かったです。日頃、会えない方々に会えたり初めての出会いがあったり、特に焼肉の食べ放題が印象に残っています。

箕面東部自立センター「ZEROの家」は、昨年に一周年を迎えたところです。ZEROの家の自主製品「ごませんべい」をメイプルホールの喫茶するうぶさんの所に置かせてもらい、大変ありがたく思っています。

ZEROの家も五周年を迎えるまで、まだまだ長く、色々な事があると思いますが、私たちが、がんばっていききたいと思

ます。



## 大阪府立 明光ワークス

箕面市障害者事業団設立五周年おめでとうございます。

貴事業団は長い検討・準備期間を経て、平成二年六月に市内の障害者及び障害者団体等の熱い思いを一杯受けて府下の先陣を切って設立されました。

爾来、障害者の職種開拓・地域拡大に向けた直接雇用と、一般企業への雇用促進に一丸となつて取り組まれ、直接雇用では公園花壇管理事業や公共施設内緑化推進事業また市立リサイクルセンターの運営受託事業等の公益事業をはじめとし、更に、公共施設内における喫茶店運営事業の拡大を図り雇用を推進してこられました。

また一般雇用分野では、企業への啓発と雇用促進を図るため

市からの受託事業として画期的な職場実習事業を実施し、企業実習から雇用への橋渡しに独自の助成事業を行うなど、地域レベルでの雇用促進に大きな成果をあげておられます。

さて、私ども明光ワークスも当地において既に三五年間知的障害児・者の職業指導施設として運営し、一般就労による職業的自立を目指してきました。

この間に、二六八名が一般企業に雇用され、職業的自立を果たしてきました。

最近では、箕面市内やその周辺地域での雇用が増加してきておりますが、これも貴事業団の一般雇用への地道な取り組みによるものと深く感謝いたしております。

今後ますます貴事業団が発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 歩んできた

### 足跡をふりかえって

(設立前～平成六年度)

## 設立前

事業団誕生のきっかけともなる障害者の働く場づくり懇話会ができたのは昭和六〇年一月。「どうして障害者は学校を出ても働くところがないのか」「最初から施設や作業所をめざしていい良いのか」という激論が、市内障害者六団体と行政が囲む円卓で交わされた。そして昭和六一年四月からは障害者事業団設立準備委員会へと発展していっ

た。これは市の行政施策としての「授産施設からの出口づくり」でもあった。

準備委員会には障害者団体以外も加わり、「既存の制度にとられない独自の発想の働く場づくり」を基調に、事業団設立に向けた中間・最終報告書がまとめられた。

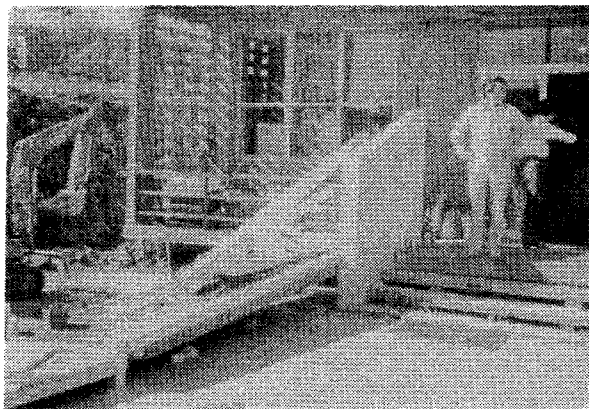
一方、先の障害者団体が合計二〇〇万円を出資して、昭和六二年九月に設立した障害者事業団モデル事業推進協会が物品販売、市民プール売店運営、自動販売機設置管理運営等を行い、

市立メイプルホールのオープンと同時にその一角に喫茶するうぶを開店した。同店では二名の知的障害者を雇用する他、施設在籍者を実習受け入れし、「障害者が働くことを通した市民啓発」と、事業団設立に向けた資金づくりを目指した。

こうした市民の動きと並行して、昭和六二年には、市に係長級を構成員とする障害者の働く場づくり研究会が設置され、ともすれば「障害者問題は福祉で」と縦割りになりがちな行政対応でなく、事業団づくりと設立後の支援へ向けた横断的な論議が交わされた。

そして平成元年五月には準備委員会が、設立委員会に改組され、翌平成二年五月には、発起人会が開催され、六月、大阪府知事の認可を受け、民法第三四条に規定された財団法人として発足した。設立に際しては、市議会の議決を経て市から一〇億

円、箕面市障害者事業団設立準備基金に寄せられた市民の寄附金が二五〇万円、さらにモデル事業推進協会から一〇〇万円の出捐を受け、障害者の職種開拓・職域拡大や啓発、民間企業への雇用促進を目的に、全国初の財団法人形式の障害者事業団として歩み始めたのだった。



スロープ・障害者用トイレの設置工事中(平成二年五月)

## 平成二年度

平成二年六月一日、事業団は箕面市萱野に仮事務所を置き、事業を開始した。役員、評議員は障害者事業団の設立に関わってきた市内障害者団体、関係団体、行政の三者から選出され、初代理事長には藤井保夫・元箕面市健康福祉部長が就任した。

寄附行為に基づき次の六つの基本計画が定められ、事業を実施したが、文字通り手さぐり、手づくりの展開であった。

① 障害者の雇用促進を図るための調査研究及び相談指導、

② 障害者の職域拡大を図るための職種開拓事業及び育成事業、

③ 障害者の職域拡大を図るための助成事業、④ 障害者の就労の場の確保及び職域拡大を図るための受託事業、⑤ 障害者問題並びに人権問題の啓発に関する事

業、⑥ 障害者の就労の場と目的達成に必要な財源を確保するための収益事業。

設立初年度の特徴的な動きを挙げると、市内全事業所を対象としたアンケート調査の実施、休耕田の活用や洗車、観葉植物リース、カプトムシ養殖等に取り組んだパイロット事業、育成事業としての障害者の働くパンハウス・ワークランドのオープン、四名の知的障害者を雇用しての緑化推進事業の開始、オープンイベントや啓発講演会等市民啓発と機関誌の創刊、モデル事業からの継続事業の喫茶クラブ(二名の知的障害者雇用)や売店運営等であった。また、事業に不可欠な軽ワゴン車を、箕面地区労働組合から寄贈いただいたといううれしい出来事もあった。なお、年度末にはNHKから取材を受け、教育テレビ「明日の福祉」地域で取り組む障害者雇用」として、四月に全国放

映され、以降視察が激増した。

職員は、前述の六名の障害者の他、市職員と授産施設を経営する社会福祉法人あかつき福祉会職員が各二名出向し、健常者のプロパー職員三名と合わせ、一三名の体制であった。

なお、事業団は職員就業規則上、正職員を、一号職員(時間給)、二号職員(月給)と分けているが、これは設立前の熱心な論議を踏まえ、「障害をもった職員の人権を保障する視点から、障害程度にかかわらずきちんとした給料を支給すべきだ」という意見や、「一人でも多くの障害者の働く場を確保するため、給料は安くても良いのでないか」という意見などを集約した結果である。また同時に、障害者の雇用促進を掲げる公益法人としては、最低賃金(当時一時間五三三円)はクリアしたという思いもあった。

そこで、障害者職員について

オープンイベントには

三〇〇名が参加  
(平成二年九月)



は時間給の最低賃金を基礎に年齢・経験給を加味し、独自の賃金体系を創り出した。また単に障害者個人に賃金が支払われることに留まらず、それを使って障害者職員が自己実現をしていき、街をノーマライゼーション化していく影響力も重要視した上でのことであった。



## 平成三年度

平成三年度は、仮事務所から、現在の瀬川の事務所への移転と共に始まった。

事業面では在施設・作業所、在宅の障害者に「働く体験の場」を保障する実習に本格的に取り組み、パイロット事業(観葉植物・花苗育成、除草、印刷)、緑化推進事業、喫茶店運営事業(電動車イス利用の重複障害者等)、売店運営事業において延べ三九七日間実施した。実習は障害者への働く意欲の喚起のみならず、職業的重度障害者が働く上でいかなる援助が必要かを実践的に追求する場でもあり、いわゆる公益目的をもった事業である。

また前年度一九か所で始まった市都市公園花壇管理事業は、この年、三八か所に事業拡大し、

知的障害者一名の雇用を実現した。作業工程の多様性から園芸作業が知的障害者に適した職種・職域であることを、本事業を通じて、実践的に開拓していったことは言うまでもないことだが、同時に、障害者が働くことを通じた市民啓発の効果も、大きなものがあつた。また障害者自身が福祉サービスの受け手から、公園という「市民の憩いの場づくり」を担っていく主体に転換していった意義も少なからずある。市は、これらの位置付けのもと、本事業を事業団に委託していった経過があり、事業団もまた、猛暑、寒冷の中、業務に励み、共に生きるまちづくりに寄与していった。なお他に身体障害者一名の雇用も行い、職種開拓・啓発事業を担当することとした。

一方、最善策である一般企業への雇用促進を目指す職場実習事業の開始、前年度実施した事

業所アンケート調査報告書の発行、一般市民を対象にした障害者事業団連続講座の開催(延べ三六八名参加)等、初めて通年ベースで、事業展開を行うことができた。

なお、箕面商工会議所の協力を得て行ったアンケート調査においては、障害者雇用前を持っていた不安感が雇用後にはかなり軽減されていることが明らかになり、企業と障害者が具体的に接する出会いの場がもっとあれば、雇用が前進することは間違いないとの確信を持つことができた。本アンケートはその後、各地の行政機関や団体に参考にさせていただくこととなり、また事業団としても以後、職場実習事業を充実する契機となった。

さて、このように事業の拡大・充実に努めてきた平成三年度であったが、一〇月には、藤井保夫理事長が急逝されるといふ悲しいできごとがあり、尾池良行

副理事長が理事長に就任し、新たな体制のもと、役員一同業務に精励することとなった。なお、本年度後期から始まる金利低下に伴う基本財産利息収入の減は、バブル経済崩壊のまだ入り口であったが、その後長期に渡り事業団にとっても厳しい財政状況を余儀なくされることになる。



喫茶店運営事業  
実習生と共に

(平成四年二月)

## 平成四年度

設立三年目は、大幅な事業拡大がなされた。分別収集されるカン・ビンの選別作業については、以前からパイロット事業として取り組んできたが、平成五年二月、市立リサイクルセンターの開所時から本事業団が受託し、作業を担った。本事業は、箕面市が五種に分別収集するゴミの内、空きカンをアルミとスチールに、空きビンを色別カレット(白、茶、緑、薄青)に手選別するものであるが、市は再資源化という視点と同時に、障害者の働く場づくりを目的にこの事業を推進することとしたので、リサイクルセンターはハード面においても各種のハンディキャップ対策が講じられた。

新たに六名の知的障害者の雇用を行い、ライン上の選別作業

の援助はもとより、安全対策・騒音対策等、障害者雇用上の様々な課題に取り組み、職域拡大を実践した。またリサイクルセンターへの通勤は日本障害者雇用促進協会の助成を受け、通勤バスを購入し、職員が交代で運転業務に当たった。

その他、障害者雇用促進制度調査研究中間報告書の発行、パイロット事業としてのビルメンテナンス(屋内清掃)事業の開始、職場実習事業を通じた一般企業への雇用の実現、緑化事業における知的障害者一名の雇用の実現、喫茶「るうぶ」二号店の開店等、積極的な事業展開を行った。

また特筆すべきこととして、啓発事業が大きく伸びたことがある。市からの委託を受け、「国連・障害者の一〇年」最終年記念イベント(記念セレモニー・コンサート等、一、〇〇〇名参加)、障害者問題連続講座(年

四回、延べ四五二名参加)を開催する他、初めて啓発ビデオの制作も行った。本ビデオは、関係団体の協力も得、障害当事者の視点から見た「まちづくり」をテーマにした「みのおの街、車イス大冒険(二三分)」と題するもので、小学校での教材にも使われ、好評を博した。

さらにNHKラジオや新聞等でも取り上げられるなど、これまでの一般就労(企業)か福祉的就労(施設・作業所)かの二者択一でなく、その谷間にある第三の道を探る動きによりやくスポットライトがあてられてきた。しかし本事業団にとって、職業的重度障害者を雇用することは目的の一つであり、むしろ公益法人として、雇用した障害者職員が、当事者スタッフとして職種開拓・職域拡大という公益事業の実践を担うこと、不特定多数の実習生にフィードバックを提供する際のピアサポート

(仲間としての支援)を行うこと等に意味がある。そしてこれらの事業や職業生活上生じた諸課題の解決策を、一般企業への雇用促進に役立てていくという内部と外部の有機的連携が相乗効果を生んでいるのである。



啓発事業

毎回一〇〇名前後の

市民が参加

(平成四年六月)

## 平成五年度

この年は、障害者基本法の成立、知的障害者自身の運動の国際的な盛り上がり等、国内外で大きな動きがあった。

事業団自身は、リサイクル事業を一年を通して初めて実施したが、緑化推進事業と合わせ、既存事業に「障害者の働く場づくり」という福祉的視点を加味した市の姿勢が他自治体の注目を広く集めることとなった。

リサイクル事業においては、注射針等医療系廃棄物の混入もあり、新たな課題も生まれたが、市と連携し解決に向け取り組んだ。

また、調査研究事業では障害者雇用促進制度調査研究最終報告書を、市障害者市民施策推進協議会と共同で発行した。その他啓発事業では、障害者問題連

続講座の開催(延べ三七二名参加)、知的障害者の自立、自己決定をテーマにしたビデオ「みのおの街、こころの旅人たち(三〇分)」の制作、前年度制作の「みのおの街、車イス大冒険」を中心にNHK福祉キャンペーン「いいなあ私のまち百選」に掲載されたこと等が挙げられる。さらに、前年度二号店を開店した喫茶事業においては、四名の障害者の実習を行い、一名の知的障害者を雇用した。

このようにしてみると、平成五年度は新規事業や雇用の拡大こそわずかであったが、設立丸三年を経て、雇用の安定、職場定着に関わる諸課題が一気に噴出した年であった。まず、てんかん発作を伴う知的障害者職員が四名となり(現在は五名)、てんかんに対する正しい理解と知識の修得へ向けた研修はもとより、主治医や家庭との情報交換、発作回数ノート付けの援

助、業務中の事故防止へ向けた工夫等に取り組んだ。

さらに社会経験の不足により給料の自己管理ができない職員については、本人の意志を尊重した上で、給料を支出目的別に封筒に小分けする(「予備費」という呼び名も知的障害者職員に浸透した)、家計簿を一緒につける等の支援を行った。この頃になると、また「毎日働くこと」に対するしんどさを訴える障害者職員も一部いたが、仲間意識を持った話し込みにより、就労継続が可能となった。そして、これらの実践は、失敗例も含め、相談事業や企業への啓発事業に役立てていった。

また、この年は一年間で五七件、五六四名もの視察があり、様々な角度からされる質間によって私たち自身が鍛えられていった。

円の指定寄附を頂いたことを始め、各ご寄附・ご寄贈、一般会員(個人)・賛助会員(企業、団体)のご協力は、財政難の本事業団にとって大変ありがたいものであった。



緑化推進事業

実習生と共に

(平成五年四月)

## 平成六年度

設立五年目を迎え、これまでの蓄積を基盤に企業に対する雇用促進策を拡充した。市障害者雇用対策懇談会における事業主の方々からの声を受け、職場実習事業を市の委託事業として実施し、スタッフが企業現場での作業援助や通勤、職業生活上の支援を行う本格的な事業として再スタートすることになったのである。その結果、池田公共職業安定所等の協力を得、四件の企業実習を行い、二件が就職に結びついた。実習希望の障害者は事前にスタッフと事業団内で軽作業等を行い、障害程度を把握し、逆に企業へはスタッフが伺い、作業経験をさせてもらい、コーディネートをした。企業開拓は、市内全事業所へのダイレクターメールの他、職安からの情

報、新聞折り込みちらしを使つての電話等、多面的に行つていった。

緑化事業においては知的障害者一名の雇用を行い、これで正職員の内、障害者職員一七名(内知的障害者一六名、内職業的重度と判定された者一四名)、その他の者一四名となった。啓発事業では、連続講座の開催(延べ三九一名参加)、ビデオを活用した啓発等を行った。収益事業では、箕面の滝壺前に売店を開店し、実習の場とした。

さて、この五年間を降り返ると、市民を中心に延べ一、二八名の方から二、五五二口(一七二万六千円)の一般会費、市内企業を中心に延べ一六二社・団体、八七一口(二六一万三千円)の賛助会費を頂くことができた。延べ七二件、六、一九〇、一、二二三元のご寄附、延べ三件のご寄贈(ご芳名は機関誌各号に掲載)と共に、事業団の財政を

支援して頂いた。衷心よりお礼申し上げたい。

また視察に来て頂いた方も、一八九件、一、七四四名に達した。日常業務の中での説明なので、不十分な点もあったかと思われるが、ご容赦願いたい。そして、視察に来られる度に、いかに障害者の働く場づくり、当事者も、親も、行政も苦心されているかが伝わってきて、逆に本事業団の意義を再認識させられたものであった。

本事業団の歩みはあるいは小さな一歩であるかも知れない。しかし、働くことが人間の基本的権利の一つである以上、いかに障害の程度が重度とされているとしても、本人の「働きたい」意欲は誰も否定できるものではないだろう。もちろん、本事業団がカバーできない範囲もあるが、「障害」という問題はある個人とその環境との関係としてとらえる」という国際障害者年

の理念の原点に立ち戻り、今後にも積極的に職種開拓・職域拡大、就労支援と、啓発を行っていきたい。

決意を新たに、本事業団は次の五年間に向け歩んでいく。



リサイクル事業  
と実習生と共に

(平成七年二月)

# 障害者職員の声

～一番、印象に残ったこと  
聞いてみました!!

遠近 秀子さん

遊園地に乗ったジェット  
コースター。勉強会で、み  
んなの話を聞いたこと。

細谷 泰弘さん

大阪で表彰状と時計も  
らった。リサイクルの仕  
事はピン・カンがたっくん。

嶋田 礼子さん

友達が出来た。旅行が  
楽しかった。植え付けが  
うまくなったことです。

正木 充子さん

5周年記念イベントの  
焼肉パーティーと司会を  
やりました。

柴田 益孝さん

新年会はにぎやかで、  
又は、お仕事もしてます。  
そして新年おめでとう。

高村 俊治さん

鷺羽山ハイランドのウ  
ルトライスター、初め  
てみた。怖く感じました。

徳山 良生さん

鷺羽山ハイランド分か  
った。面白かった。ジェ  
ットコースター、乗った。

大谷 智宣さん

旅行の遊園地で、ジェット  
コースターに7回乗った。

冠 美穂さん

どしゃ降りの雨の中、かぶ  
と虫養殖用の薪を、止々呂美  
でみんな一緒に集めたこと

田中 小百合さん

皆、やさしいので、  
長く勤めていられる  
かなと思う。

東 武司さん

堀内孝雄、レコード  
大賞。旅行で乗ったジェ  
ットコースター、ぐるぐ  
る。楽しかった。

三阪 大洋さん

昼休みにする  
ボーリングや  
キャッチボール。

白石 嘉隆さん

カラオケで五木ひろしと  
工藤しずか歌うこと。  
観葉植物リースも。  
(話を聞いて書きました)

高岡 英治さん

リサイクルの実習をやったこと  
旅行に行ったこと

松内 秋弘さん

僕は事業団は楽しい。

辻 洋子さん

旅行の宴会が、楽しか  
ったです。(倉敷)

森岡 福子さん

るつぶができて、みんな  
淡路島へ行ったこと

似顔絵は、No.6「私の趣味(第一回)」  
登場の高村俊治さんが描いてくれま  
した。どうも、ありがとうございます。

## 設立五周年

### 記念イベント、

### 二千名の参加で

### 大成功!

1月29日、菅原公園

雨も吹き飛ばす事業団の熱気かどうかは分からないが、開会の午前一時は、文字通りの快晴。

開会式。百々裕子委員長、尾池良行理事長の挨拶、橋本卓市長さん、北口和平市議会議長さんの祝辞、来賓、祝電ご紹介。

後は、同時多発イベントの幕開け。あっちで障害者団体のフリーマーケット、こっちで大焼肉パーティー、そっちで吹奏楽やロックコンサート。

正午からはメインイベントの子供車イス体験マラソン、延べ、四〇二人、惜しくも二四・一キロに終わったが、参加する度に抽選券がもらえるので、こども

らは必死。

明日の箕面を担うこどもらに参加してもらおうと、紙芝居やこどもクイズ大会、ゲームコーナーと企画も盛りだくさん。

閉会式は抽選会を兼ねたので、これまた一喜一憂。賞品は事業団職員手製のリサイクル・マウンテンバイクなどなど。高市俊一郎副理事長の挨拶で三時半終了。

さて、このイベント、事業団の障害者職員はどこに? 実行委員やボランティアの方と一緒に、焼肉パーティーや司会の係をしてました。何度も練習した司会原稿、これからは司会業もおまかせ?!

ともかくこんなにくさんの人が来てくれてうれし、実行委員を始め、市民、関係団体・企業や行政の方々にご協力を心からお礼申し上げます。そして、これからも障害者事業団をよろしく願います。

### 後援団体

箕面市

### 協賛団体

箕面市身体障害者福祉会

箕面手をつなぐ親の会

箕面市肢体不自由児者父母の会

豊能障害者労働センター

箕面障害者共働作業所

そよ風の家

箕面市障害者自立の店

たんぼぼ共働作業所

みとい会のみじの家

(福)箕面市社会福祉協議会

(社)箕面市シルバー人材センター

(福)あかつき福祉会

箕面商工会議所

箕面市農業協同組合

箕面地区労働組合協議会

箕面市民生委員児童委員協議会

箕面市老人クラブ連合会

障害者の働く

パンハウス・ワークランド

箕面市教育委員会

箕面東部自立センター

ZEROの家

大阪府立明光ワークス

(財)箕面市文化振興事業団

(財)箕面市国際交流協会

箕面市体育連盟

箕面市青少年指導員連絡協議会

箕面市PTA連絡協議会

箕面市こども会育成協議会

箕面ライオンズクラブ

箕面船場ライオンズクラブ

箕面ロータリークラブ

箕面中央ロータリークラブ

(社)箕面青年会議所

大阪船場繊維卸商団地協同組合

みのおコミュニティ放送株式会社

箕面市商店会連合会

箕面市小売市場連合会

### ご寄附、ご寄贈等、ご協力いただいた企業、団体

サントリーフーズ株式会社

タケダハム株式会社伊丹営業所

近畿コカ・コーラボトリング株式会社

フルサービスキ千里丘支店

株式会社やまぐち

みのおコミュニティ放送株式会社

株式会社日本旅行社新大阪駅内支店

箕面船場支店

株式会社ナストウ

箕面ライオンズクラブ

箕面船場ライオンズクラブ

箕面ロータリークラブ

箕面中央ロータリークラブ

箕面紙芝居まつりの会

イベントショップ

JOHN LENNON

(敬称略、順不同)



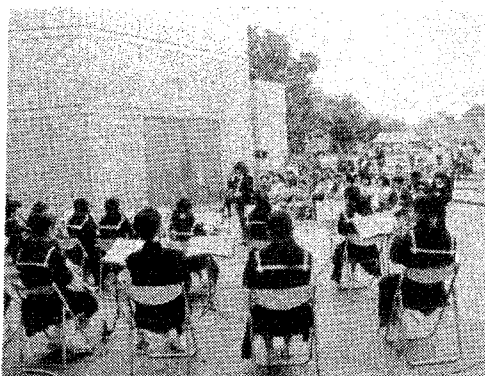
④

### 記念イベント 思い出の一枚

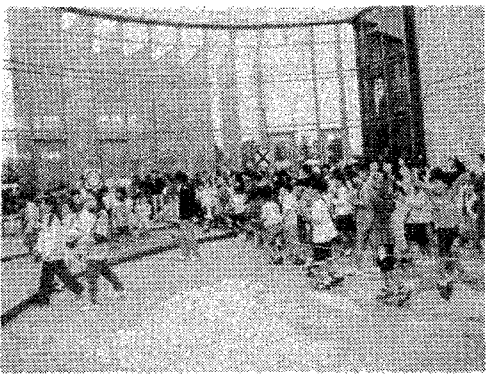
- ① 市立第三中学校の皆さんのコンサート
- ② 市長さんも参加! 車イス体験マラソン
- ③ 思わずおどり出すロックコンサート
- ④ 200キロの肉が、あっという間に(焼肉パーティ)
- ⑤ 楽しい紙芝居に、子供たちも熱中
- ⑥ 東京ディズニーランドをかけて、  
○×クイズ大会(司会 結城アナウンサー)
- ⑦ 閉会式はマウンテンバイク  
(リサイクル)の抽選会



⑤



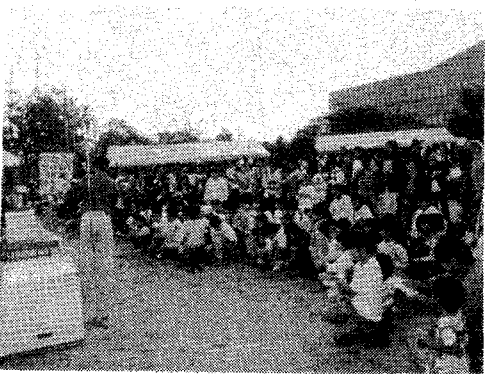
①



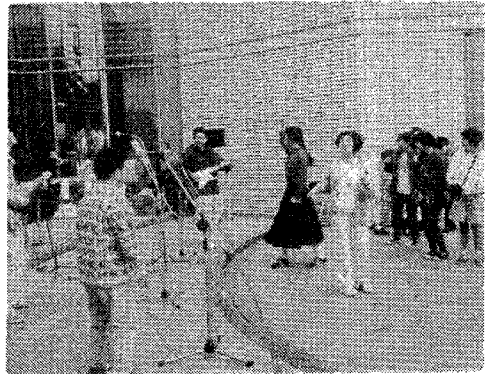
⑥



②



⑦



③

## 事業団の

## 思い出

デスクワークだけでは

務まらないのが、

事業団の事務局長。

プールでのお菓子売りや、

花壇の水やりにも、

実習企業の開拓と、

職員と一緒に汗を流されたお三方に、

当時の思い出を

綴っていただいた。

これからも応援をよろしく!

### 初代事務局長

鈴木 恵介

もうすぐ潰すことになってい  
た古巣けた平屋のビルに、初代  
理事長の故藤井さんによる「財  
団法人箕面市障害者事業団」の  
看板を掲げて、障害者雇用の啓  
として気概をもって行った菅野  
の事務所での一年間は、今振り  
返ると、二年、三年分の仕事を  
したような気になります。

平成二年の四月に辞令を貰い、  
大阪府から財団認可を貰うため  
の事務処理、喫茶「るうぶ」の  
運営、財務処理のコンピュータ  
導入、財団の規則作成、理事会・  
評議員会への議案作成、市から  
の花壇管理委託事業の準備など、  
一遍に四つも、五つも仕事をし  
なければなりませんでした。職  
員は日曜もなく、毎日十時すぎ  
まで今日はどこで夜食を取ろう

### 第二代事務局長

太田 克己

私が、二代目事務局長を拝命  
したのは、平成三年四月一日の  
ことでした。以来、三年間の任  
期中、同僚職員の皆さんや関係  
団体の方々には大変お世話にな  
りました。心からお礼申し上げます。  
ます。

拜命当時、事業団は設立後十  
カ月を経過していたとはいえ、  
まだまだ草創期の混乱の中にあ  
り、健常者職員は全員、全国初  
の事業団を挫折させてはならな  
いと、夜遅くまで仕事に励んで  
いました。一方、私は事務局長  
とは名ばかりで、財団法人の憲  
法ともいえる「寄附行為」の意  
味さえ知らないという素人では  
たので、とにかく皆と一緒に頑  
張ろうと必死でした。

そんな中、役員視察のお供を

### 第三代事務局長

島田 政弘

(財)箕面市障害者事業団設  
立五周年、誠におめでとうござ  
います。退職しました私にまで  
記念誌の原稿依頼を頂き、恐縮  
に存じています。

平成六年四月より翌七年三月  
まで皆様と一緒に仕事をさせて  
頂き、緑化・リサイクル・喫  
茶店運営等の事業において各々  
の思い出があります。「数々の  
勉強をさせてもらった」という  
一言に尽きますが、中でも特に  
印象に残っているのは、平成六  
年度から市の委託をうけて実施  
しました職場実習事業でありま  
す。

この事業は障害をもつ市民の  
「働きたい」という思いと、民  
間企業の「障害者雇用に関心は  
あるが実際の雇用には不安があ



かと話しながら仕事をしていたのを、懐かしく思い出します。そこには、日本で初めてできる障害者雇用のための財団、ノーライゼーションの精神のもとに設立された財団を作っていくんだという職員全体の一体感・高揚感を感じたものです。

そして、週に一回職員が集まり、事業の方向性や仕事の段取りを確認したり、障害者問題等を色々議論をしたものです。それからの議論を通して、私自身が障害者問題に対する認識の甘さを痛感させられました。

また、秋に大雨が降ってビルの屋上に雨が溜り、事務所が雨漏りにあい、夜に屋上のとゆ掃除に行ったり、思い出は沢山あるが、紙面は尽きたようです。

最後に、今後も障害者雇用を拡大するために事業化を図られ、障害者も健常者も共に生きる社会を目指して、更なる活躍を念じてやまないものです。

して、東京都町田市を訪問したことは、私に大きな感銘を与えました。初めてトイレや階段の介護を経験しましたし、訪問した各授産施設や福祉作業所では、その発想の豊かさや規模の大きさに驚きました。

ところが、我事業団は、全国初の事業団とあって、全国各地からの視察が相次いでいました。が、事務所は狭く、緑化の職員は雨が降ればあかつき園の通路で雨具を着て仕事しなければならぬという状況で、大変肩身の狭い思いをしていたことを思い出します。

しかしながら、事業団は五年を迎え、今春には事務所移転と飛躍的な事業拡大が予定されていると伝え聞き、OBとして大変嬉しく思っています。

この事業団の、労働の分野からノーライゼーションの実現を目指す先駆者としての更なる貢献を願ってやみません。

る」という声を活かし、企業で実習をお願いするもので、スタッフが相談・情報提供を行う他、実習にも同行し、援助を行うものであります。

幸いにして、箕面市雇用対策懇談会において主旨の説明をさせて頂き深いご理解を得たのち、さらに会社訪問に伺わせて頂くなど、多くの暖かいご支援を賜り一定の成果を上げることができました。一年間という短い期間ではありましたが、私はこの事業を通して障害者雇用の重要性を再認識いたした次第でございます。

また、財政運営も低金利で非常に厳しいものがあり、財産の運用方法も見直さなければならぬ時期にきていることと思えます。

今後の事業団の益々のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

財団法人箕面市障害者事業団役員任期一覧表 (敬称略、任期の内、現在とは平成8年1月25日の平成7年度第3回理事会開催時現在)

役 職	氏 名	団 体 名 等	任期 (継続含む)
理 事 長	藤井 保夫	学識経験者	2.6.1 ~3.10.30
	尾池 良行	箕面商工会議所	4.3.26~現在 (3.10.30~4.3.26は 理事長代行)
副理事長	尾池 良行	箕面商工会議所	2.6.1 ~4.3.26
	高市俊一郎	学識経験者	4.4.30~現在 (4.4.23 理事就任)
常務理事	芝 寅男	箕面市健康福祉部	2.6.1 ~3.4.18
	兵庫 稔康	箕面市健康福祉部社会福祉室	3.4.30~4.4.23 (3.4.18 理事就任)
	岩崎 淳	箕面市健康福祉部	4.4.30~7.5.22 (4.4.23 理事就任)
	仲野 公	箕面市健康福祉部	7.5.24~現在 (7.5.22 理事就任)
理 事	中西 秀夫	箕面市身体障害者福祉会	2.6.1 ~3.4.18
	森田トシ子	箕面手をつなぐ親の会	2.6.1 ~3.4.18
		社会福祉法人あかつき福祉会	4.4.23~6.5.23
	下野百合子	箕面市肢体不自由児者父母の会	2.6.1 ~3.4.18
		社会福祉法人あかつき福祉会	6.5.23~現在
	濱口 剛	豊能障害者労働センター	2.6.1 ~現在
	大倉 徹	箕面障害者共働作業所そよ風の家	2.6.1 ~現在
	馬垣 安芳	箕面市障害者自立の店みん共働作業所	2.6.1 ~現在
	石原 章之	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	2.6.1 ~4.4.23
	古谷 要	社団法人箕面市シルバー人材センター	2.6.1 ~現在
	阪口 一子	社会福祉法人あかつき福祉会	2.6.1 ~4.4.23
	杉本 彰	箕面市農業協同組合	2.6.1 ~4.10.5
	白金 久雄	箕面地区労働組合協議会	2.6.1 ~現在
	守田 良隆	箕面市出納室	2.6.1 ~4.4.23
	紺谷リツ子	箕面市身体障害者福祉会	3.4.18~7.3.22
	岸本 文代	箕面手をつなぐ親の会	3.4.18~6.5.23
	松尾ひろ子	箕面市肢体不自由児者父母の会	3.4.18~現在
	高木 孝夫	箕面市出納室	4.4.23~6.5.23
	笹川 清和	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	4.4.23~現在
	黒田 常雄	箕面市農業協同組合	4.10.5~現在
	西本 征子	箕面手をつなぐ親の会	6.5.23~現在
	岩部 俊明	箕面市出納室	6.5.23~現在
	室 徳一	箕面市身体障害者福祉会	7.3.22~現在
監 事	井上 一夫	箕面市民生委員児童委員協議会	2.6.1 ~7.5.22
	吉田 直彦	箕面市出納室	2.6.1 ~3.4.18
	草間 正	箕面市出納室	3.4.18~6.5.23
	酒井 精治	箕面市出納室	6.5.23~7.5.22
	中村 保男	箕面市民生委員児童委員協議会	7.5.22~現在
	稲田 博	箕面市出納室	7.5.22~現在

財団法人箕面市障害者事業団評議員任期一覧表

(敬称略、任期の内、現在とは平成8年1月23日の平成7年度第3回評議員会開催時現在)

氏名	団体名等	任期(継続含む)	氏名	団体名等	任期(継続含む)
小西 好夫	箕面市身体障害者福祉会	2.6.6～現在	葛西 嘉昭	箕面市健康福祉部保健福祉室	3.4.30～4.4.30
和気登代子	箕面手をつなぐ親の会	2.6.6～4.6.6	蒲 隆夫	箕面障害者共働作業所そよ風の家	3.9.25～4.6.6
増田壽久子	箕面市肢体不自由児者父母の会	2.6.6～現在	稲田 博	箕面市市民生活部	4.4.30～5.5.25
杉原 勝利	豊能障害者労働センター	2.6.6～4.10.12	北脇 善明	箕面市健康福祉部保健福祉室	4.4.30～6.6.6
岩水 千富	箕面障害者共働作業所そよ風の家	2.6.6～3.9.25	向井 文子	箕面市民生委員児童委員協議会	4.6.6～7.5.24
浦山 敦子	箕面市障害者自立の店みどり共働作業所	2.6.6～5.8.26	小杉 一夫	箕面商工会議所	4.6.6～現在
川畑 保子	箕面市精神障害者家族会みのお会	2.6.6～2.8.27	笹川 君子	社団法人箕面市シルバー人材センター	4.6.6～現在
川部 功	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	2.6.6～現在	川島 妙美	箕面障害者共働作業所そよ風の家	4.6.6～6.6.6
寺嶋秀三郎	社団法人箕面市シルバー人材センター	2.6.6～4.6.6	今井 綾子	箕面手をつなぐ親の会	4.6.6～5.8.26
原 暎	社会福祉法人あかつき福祉会	2.6.6～4.4.30	小泉 祥一	豊能障害者労働センター	4.10.12～現在
山田 進	箕面商工会議所	2.6.6～4.6.6	江本 元大	箕面市企画部	5.5.25～7.5.24
傘谷 捨子	箕面市農業協同組合	2.6.6～現在	井田 哲也	箕面市市民生活部	5.5.25～6.6.6
河内正比古	箕面地区労働組合協議会	2.6.6～6.6.6	中谷内弘子	箕面手をつなぐ親の会	5.8.26～6.6.6
魚島 丈夫	箕面市人権啓発推進協議会	2.6.6～6.6.6	高洲由美子	箕面市障害者自立の店みどり共働作業所	5.8.26～現在
出水久太郎	箕面市老人クラブ連合会	2.6.6～6.6.6	橋口さよ子	箕面手をつなぐ親の会	6.6.6～現在
舛田 和子	箕面市民生委員児童委員協議会	2.6.6～3.4.30	大道 広子	箕面障害者共働作業所そよ風の家	6.6.6～現在
中野 豊	箕面市企画部	2.6.6～3.4.30	柳井 律子	箕面地区労働組合協議会	6.6.6～現在
石田 憲和	箕面市市民生活部	2.6.6～3.4.30	渡邊 貞夫	箕面市人権啓発推進協議会	6.6.6～現在
小山 定男	箕面市健康福祉部	2.6.6～3.4.30	安田国太郎	箕面市老人クラブ連合会	6.6.6～現在
近藤 俊一	箕面市教育委員会生涯学習推進部	2.6.6～6.6.6	野口 誠	箕面市市民生活部	6.6.6～現在
今井 宏	箕面市教育委員会指導室	2.6.6～6.6.6	熊井 稔	箕面市健康福祉部	6.6.6～現在
阪本 昭雄	箕面市健康福祉部福祉課	2.6.6～2.8.31	草間 正	箕面市教育委員会生涯学習推進部	6.6.6～現在
頼富 亮子	箕面市精神障害者家族会みのお会	3.2.6～現在	高垣 勝治	箕面市教育委員会指導部	6.6.6～現在
河合禮士郎	箕面市健康福祉部障害福祉課	3.2.6～6.6.6	庄司 秋男	箕面市健康福祉部障害福祉課	6.6.6～7.5.24
松田 昌子	箕面市民生委員児童委員協議会	3.4.30～4.6.6	坂口 征男	社会福祉法人あかつき福祉会	7.5.24～現在
出水 睦夫	箕面市企画部	3.4.30～5.5.25	吉川麗代子	箕面市民生委員児童委員協議会	7.5.24～現在
大谷 俊郎	箕面市市民生活部	3.4.30～4.4.30	西 利之	箕面市人権文化部	7.5.24～現在
	社会福祉法人あかつき福祉会	4.4.30～7.5.24	武藤 進	箕面市健康福祉部障害福祉課	7.5.24～現在

\* 頼富亮子さんは、平成8年2月7日にご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

# 機関誌 総目次

障害者事業団だより No.1～No.9

発行 91・1・31～95・8・31

## No.1 91・1・31発行

創刊のご挨拶	理事長 藤井保夫	1
創刊に寄せて	箕面市長 中井武兵衛	2
創刊に寄せて	市議会議長 酒井篤雄	3
オープンイベント 報告		4
(財)箕面市障害者事業団設立趣意書		6
事業紹介シリーズ①		7
緑化推進事業		

## ADAとアメリカ障害者事情

NHK 佐伯万里子さんを招いて

物品販売、ご協力のお礼	12
調査・研究事業 開始の報告	14
寄附・寄贈者のご芳名	15
会員募集のお知らせ	16
編集後記	16

## No.2 91・5・31発行

表紙 喫茶するうぶのイラスト	1
ご挨拶と 役員一覧	2
事業紹介シリーズ②	
喫茶店運営事業	4
西へ東へ	

## 広島市立皆賀授産所 & 三原きぼう授産所

東村山リサイクル作業所(とんぼ作業所) & 桶川市リサイクルセンター	11
インフォメーションコーナー	12
寄附・寄贈者のご芳名	14
編集後記	16

## No.3 91・12・25発行

表紙 みのおふれあいひろば	1
藤井保夫理事長を悼む	2
副理事長 尾池良行	
西へ東へ	
東京都町田市役員研修視察	3
事業紹介シリーズ③	
ポール売店運営事業	6
障害者事業団連続講座 報告	
91年度第一回～第二回	8
箕面市内事業所の障害者雇用についてのアンケート調査、報告書発刊	12
インフォメーションコーナー	14
寄附者のご芳名	16
編集後記	16

## No.4 92・6・1発行

表紙 緑化部門の風景	1
就任のご挨拶	2
理事長 尾池良行	
西へ東へ	
大津市・ねっこ共働作業所	3
兵庫障害者職業センター	5
事業紹介シリーズ④	
喫茶店運営事業 その二	6
障害者事業団連続講座 報告	
91年度第三回～第四回	8
事業団実務ノウハウ	
会計お仕事編	12
インフォメーションコーナー	14
寄附者のご芳名	16
会員募集のお知らせ	16
編集後記	16

## No.5 93・2・10発行

表紙 国連・障害者の10年	1
最終年記念イベント	2
新年のご挨拶	2
理事長 尾池良行	
西へ東へ	
横浜市・ワーキングセンター他	3
障害者の働く喫茶店	
(ふれあい、我夢舎菜、バオバブ、どんぐり)	4
事業紹介シリーズ⑤	
パイロット事業 その一	5
リサイクル	
障害者問題連続講座 報告	
92年度第一回～第二回	8

物品販売のお知らせ……………11  
 昼休み、あれこれ……………13  
 インフォメーションコーナー……………14  
 寄附者のご芳名……………16  
 編集後記……………16

No. 6 93・8・30発行

表紙 ささゆりフェアのパレード……………1  
 就任のご挨拶 理事長 尾池良行……………2  
 喫茶するうぶ2号店のオープン……………3  
 事業紹介シリーズ⑥  
 バイロット事業 その二……………4  
 ビルメンテナンス……………4

障害者問題連続講座 報告  
 92年度第三回〜第四回……………6  
 障害雇用促進制度 調査研究・中間報告書 発刊……………8  
 ビデオ頒布のお知らせ  
 「みのおの街、車イス大冒険」……………10  
 物品販売のお知らせ……………11  
 私の趣味 第二回  
 高村俊治さんの巻……………13  
 インフォメーションコーナー……………14  
 寄附・寄贈者のご芳名……………16  
 編集後記……………16

No. 7 94・2・25発行

表紙 障害の日 記念販売……………1

新年のご挨拶 理事長 尾池良行……………1  
 障害者基本法成立と  
 箕面市人権宣言の策定……………2  
 西へ東へ  
 日本職業リハビリテーション学会……………4  
 知的障害者の就労援助シンポジウム……………6  
 訪問の家・朋 視察……………7  
 事業紹介シリーズ⑦……………8

No. 8 95・1・31発行

職場実習事業……………8  
 障害者問題連続講座 報告  
 93年度第一回〜第二回……………10  
 障害者雇用促進制度 調査研究・最終報告書 発刊のお知らせ……………12  
 物品販売のお知らせ……………13  
 私の趣味 第二回  
 白石嘉隆さんの巻……………15  
 寄附者のご芳名……………16  
 編集後記……………16

表紙 市民探検隊(リサイクルセンター)……………1  
 新年のご挨拶 理事長 尾池良行……………2  
 西へ東へ  
 全国施設職員研究大会……………3  
 日本職業リハビリテーション学会……………4  
 全日本精神薄弱者育成会 全国大会……………5  
 事業紹介シリーズ⑧……………6  
 職場実習事業 その二……………6  
 障害者問題連続講座 報告……………6

93年度第三回〜第四回……………9  
 94年度第一回……………11  
 ビデオ頒布のお知らせ  
 「みのおの街、こころの旅人たち」……………12  
 物品販売のお知らせ……………13  
 私の趣味 第三回  
 辻洋子さんの巻……………15

No. 9 95・8・31発行

寄附者のご芳名……………16  
 編集後記……………16  
 職員募集……………16

表紙 売店するうぶ(第一市民プール)……………1  
 五周年を迎えて 理事長 尾池良行……………2  
 新役員体制の紹介……………2  
 五周年記念イベント情報……………3  
 西へ東へ  
 日本職業リハビリテーション学会……………4  
 事業紹介シリーズ⑨……………4  
 リサイクル事業……………5  
 啓発講座 案内……………8  
 障害者問題連続講座 報告  
 94年度第二回〜第四回……………10  
 物品販売のお知らせ……………13  
 私の趣味 第四回  
 森岡福子さんの巻……………15  
 寄附者のご芳名……………16  
 編集後記……………16

# 障害者の働く場を広げよう

## 掲載された

## 新聞記事から

### 箕面 あす「事業団」を設立

### 就労相談や職場実習も

(1990. 5.31 読売新聞)



障害者事業団の設立を前に、看板を掲げる職員

障害者の就労を促すため、箕面市障害者団体を中心とする「財団法人箕面障害者事業団」(仮称)が、あす(28日)正式に設立される。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。

市内には、現在千六九〇人に、就職した人もあつた。開拓六十一年十人の就職は、前年より増加した。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。

市内には、現在千六九〇人に、就職した人もあつた。開拓六十一年十人の就職は、前年より増加した。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。

同市は、市職員の就職を促進するため、市役所庁舎に看板が掲げられた。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。

同市は、市職員の就職を促進するため、市役所庁舎に看板が掲げられた。同団体の設立を前に、市役所庁舎に看板が掲げられた。

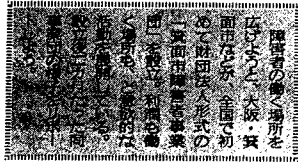
## 「ふれあい農園」耕作や喫茶店経営順調

## 利潤も働く場所も

「箕面市障害者事業団」設立から2ヵ月



事業団が経営する喫茶店「るうぶ」。手作り野菜を売ったり、人気は上々。箕面市立マイアールホール内



障害者の働く場所を広げよう。大阪・箕面市に、全国で初めて障がい者形式の「箕面市障害者事業団」が設立された。

(1990. 8. 9 産経新聞)

### 1月7万円給 自立に役立つ

同事業団は、箕面市、市内の障害者団体などが十億円余りを出して、今年六月一日に設立された。市青年研修所(同農園)のあった建物(同農園)の耕作は、同事業団が経営する。同事業団は、利潤も働く場所も、自立に役立つ。

同事業団は、箕面市、市内の障害者団体などが十億円余りを出して、今年六月一日に設立された。市青年研修所(同農園)のあった建物(同農園)の耕作は、同事業団が経営する。同事業団は、利潤も働く場所も、自立に役立つ。

同事業団が経営する喫茶店「るうぶ」。手作り野菜を売ったり、人気は上々。箕面市立マイアールホール内

同事業団が経営する喫茶店「るうぶ」。手作り野菜を売ったり、人気は上々。箕面市立マイアールホール内

# 関西トレンディ

# ビジネスひと

意欲のある障害者も大活躍  
**専任チームに置き 待っています**  
 企業自治体

地方自治体も障害者雇用推進に動いている。その一つ、箕面市障害者事業団は、九〇年六月に障害者の雇用促進を目的に設立された公益財団法人。箕面市の出資で、市内の障害者団体、一般市民の寄付金をもとに発足した全国でも珍しい第三セクターだ。

理事長には元障害者も参加してあり、互えられる福祉から「百回への出す前」への移行を促している。事務局でも職員十六人のうち、半分以上は障害者だ。一、二名の職員が障害者を持つという。一、二名の職員が障害者を持つという。一、二名の職員が障害者を持つという。

昨年からの前年度は、職場実習生も増えた。実習生を一般企業に送り込み、一月から約半年の間、人間関係なども含めて学んでもらおうという。企業には協力金として二人当りの月三万円を支給する。この制度で実際にカープの購買士等に就職がままな例もあるという。

事務局長の水川喜さんによると、企業経営者は「障害者だから仕事ができない」とか「思い込みを捨てて欲しい」とか「管理をはじめとする緑化推進事業」の教育費も補助している。また、店舗経営、チラシ印刷などのパイロット事業、こうした事業を通じて障害者が参加して、箕面市内の事業所をめぐって、左障がい雇用のアンケート調査をまとめた。機関誌発行、他自治体からの複製依頼など、理事長の仕事を担っている。しかし「単に障害者の雇用促進を訴えるだけでは効果がなく、実際に彼らが活躍できるように実務的な支援が必要だ」と力を訴えている。

## ニーズ分析、手話勉強会 雇用促進目的に3セクも



## 雇用開発を進める箕面市障害者事業団

公共施設や公園に花を植え、管理をする緑化事業も事業団の仕事

公共施設や公園に花を植え、管理をする緑化事業も事業団の仕事

公共施設や公園に花を植え、管理をする緑化事業も事業団の仕事

業の中心である。障害者は職員二十 皿洗いなを要するだけ六人中、知的 ではなく、ウエーターとして障害者が十四 して飲食店を運営。二日に人、肢体障害 は、二号店が市立教育センターが一人、い ターに開店した。

知的障害者 ルセンターの試運転をして加えて、現在、リサイクルイロット事業も展開中だ。しかし、企業との協力はまだまだ少ない。事業団には、一と呼び掛けている。

## ともに生きる 福祉のいま

知的障害者を職員や実習生として受け入れるなど、箕面市障害者事業団(公益財団法人)が、全国にも例のない雇用開発を進めている。知的障害者の働く場は、最低賃金が適用されない作業所や生産施設など限られてきたが、同事業団は、緑化推進事業や喫茶店運営で得た収入で賃金を払い、正規雇用の道を開いている。「働くのは無理」と言われた重度障害者の能力開発にも取り組んでいる。

こうした取り組みが市からも評価され、二月から「空き缶やビン」を資源化するリサイクルセンターの運営も委託された。

事業団は一九〇年六月、市の支出金や市民の寄付約十億円、財団法人と

## 工夫次第で生産性アップ可能



空き缶やガラスビンの選別回収をする事務職員たち

箕面市障害者団体の市リサイクルセンターで

## 緑化事業や喫茶店運営 空き缶のリサイクルも

業の中心である。障害者は職員二十 皿洗いなを要するだけ六人中、知的 ではなく、ウエーターとして障害者が十四 して飲食店を運営。二日に人、肢体障害 は、二号店が市立教育センターが一人、い ターに開店した。

知的障害者 ルセンターの試運転をして加えて、現在、リサイクルイロット事業も展開中だ。しかし、企業との協力はまだまだ少ない。事業団には、一と呼び掛けている。

【編集後記】

つくづく運が良いと思った。

五周年記念イベントの日、午前五時、篠突く雨にもかかわらず、藤野紘明事務局長の「やろかい！」の一言で、準備開始。

半信半疑のメンバーが逡巡している間に、みるみる雨は上り、開会式は絵に描いた秋晴れ。

勢いが運を呼び込むこともあるんだなあと思った。

★

振り返れば、この五年、決して平坦な歩みではなかった。

全国初という、誇りと不安を抱えてのスタート、いや当初は不安だらけと言っても良かっただろうが、常に活気はみなぎっていた。

★

萱野の旧事務所では、昼食用のテーブルもなく、ビールケースにベニヤ板を並べて、一年間通した。

どこそこで、破れかけたソ

ファーが出ると聞いては、宝物のようにもらいにいった。

障害者への支援のあり方をめぐって、深夜まで激論をする日々が続いた。

早朝、毛布にくるまって仮眠をとっていると、横を大百足がはっていった。

文字どおり手づくり、手さぐり……、これが財団法人箕面市障害者事業団の原点だ。

★

そして五年、紆余曲折の跡も、きれいなシステムのように外からは見えるらしい。

決してそんなことはない。最近では視察の方にも「形だけ同じものを作ろうとしても難しいですよ」と繰り返している。

手づくり、手さぐり、勢いを支えているのは、「働きたい」という障害者自身の意欲と、いかに就労支援を行っていくのかという飽くなき思いである。

★

そして、今の事業団があるのは、障害者団体、市民、関係団体、企業、市を始めとする行政機関等の一方ならぬご支援の賜物である。

深謝申し上げると共に、今後も、さらに幅広いご協力をいただけるようお願い致したい。

さて、経済情勢の先行きが不透明な中、本事業団にとってもこれからいばらの道が待っているかも知れない。

しかし、パイオニアとしての矜持は常に持ち続け、前を向いて進んでいきたいと記念誌発刊に際し改めて念ずるのである。

住所変更のお知らせ

四月一日以降、本事業団事務所を左記に移転しますので、郵送物、特に機関誌交換をしていただいている団体の方は、恐れ入りますが、住所録等のご訂正をお願い致します。

〒562 大阪府箕面市西小路

三一九一九

KSKQ

障害者事業団だより

No.10

発行日/1996年2月28日

編集人/財団法人箕面市障害者事業団 (理事長 尾池良行)

〒562 大阪府箕面市瀬川3-3-21 ☎0727-23-1210

FAX 23-8803

※郵便振替 「00990-8-314233財団法人箕面市障害者事業団」